

コープみらい 2025 トピックニュース

「2025国際協同組合年」
学びや交流が行われました

協同組合は、同じ願いを持つ人同士がつながりあい、事業を通じて願いを実現する組織です。コープみらいも協同組合のひとつ。国連は2025年を「国際協同組合年」と定め、世界中で協同組合の役割を知らせるためのイベントや交流が行われました。コープみらいでも、職員が協同組合について学んだことを宅配の担当者ニュースや店舗の売り場で発信したほか、組合員がイベントなどで活動をアピールしました。また海外の協同組合関係者が相次いで店舗などを視察し、交流が行われました。



▲イタリアの生協の理事長・専務理事12人がコープ葛飾白鳥店を視察しました

被爆・戦後80年
平和を次世代につなげています

コープみらいでは、3月に「コープみらいピースアクション」を初開催し、これまでの活動を振り返ったほか、「オキナワ・ヒロシマ・ナガサキ平和の旅」など平和の大切さを次世代へ継承する取り組みを実施しました。また夏休みに「子ども平和新聞プロジェクト」を開催し、新聞づくりを通じて多くの小中学生が主体的に平和の大切さを学びました。



▲子ども平和新聞プロジェクトでは、今も身近に残る戦跡を見学、被爆者の体験を聞き、平和への想いを込めた新聞をつくり上げました。



▲コープみらいフェスタin池袋サンシャインシティで国際協同組合年を広くアピールしました



國際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

その他の
取り組みは
こちら



夏季の配達をお休みしました

copeデリ宅配では、猛暑による疲労・熱中症から職員を守り、職員の働きやすい職場環境づくりを実現するため、8月11日～15日に「夏季配達お休み」を設けました。ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。組合員の皆さまのご意見を踏まえ課題を確認し、これからも職員が働きやすい職場環境の整備を目指して、次年度に向けた検討を進めます。

お休みにあたり、
チラシや広報誌では
丁寧にお知らせを
進めました